

どこからひけばいいのかな？ 視点1, 5

1. 単元名 ひきざん（1年生 11月）

2. 改善の動機・意図

本時では、10をばらにする必要性を感じさせるために、10を1つのまとまりとして提示する。児童は繰り下がりのない引き算の学習で、一の位で計算することを学習しているため、本時は一見すると計算できないと感じる。そこから10をばらにすることで計算できる経験を通して、10のまとまりを使う良さを実感できると考える。さらに既習である10を「いくつといくつ」に分ける操作の有用性を感じることができると考える。

また、「13-9」の計算をする際に、数の構成を視覚的にとらえ意識させるために、位取り表を用いて操作させる。そうすることで、「繰り下がり」の計算を視覚的に理解することができ、一の位で計算できない場合は「1つ上の位から1繰り下げる」ということに気づけると考える。

3. 授業の構想

T 1 今日遊園地のチケットを持ってきたよ。← ばらのチケット3枚と10枚が1冊の冊子になったものを提示する。
何枚あるかな？

C 1 3枚！

C 2 本の中に10枚あるから全部で13枚です。

T 2 もしメリーゴーランドに乗ったら3枚使うよ。
のこりは何枚になるかな？

C 3 $13 - 3 = 10$ ！残りは10枚だ！

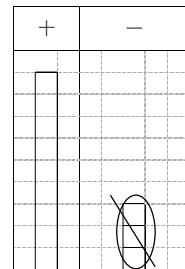
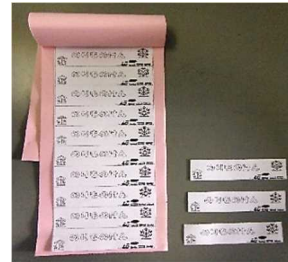
T 3 そうだね。一の位から引けばよかったね。← 位取り表でブロックを動かす。
ではもしジェットコースター（9枚）に乗るとき、
のこりは何枚になるかな？

C 4 わからない。一の位の3から引けないもん。

<一の位からひけないときは>

C 5 10から引けばいいよ！

T 4 ブロックで動かして答えを見つけよう！



（位取り表のワークシートにブロックをのせ、動かす活動を行う）

C 6 十の位の10を両替します。（10のまとまりをばらにする）10から9をひいて1。1と3で答えは4です。

C 7 十の位の10はばらにしたら十の位にいられないよ。

T 5 どうすればいいかな？

C 8 10を一の位にうつせばいいよ

C 9 そうか！わかった！

C 10 くりあがり逆だよ！

T 6 そうだね。十の位にある10を一の位に移すことを・・・

C 11 「くりさがり」だ！わかったよ！

